



「あれから十年」

川上 文一

「十年一昔」といいますが、月日の経つのは早いもので、松本市との合併を選択して十年が経ってしまいました。

私も自治区長を任命された三年間、地域協議会の委員や住民の皆さんの助けをかり、地域の色々な問題に関わりながら何とか職務を全うすることができました。改めて感謝申し上げます。

言うまでもなく地域自治区制度の目的は、過去の合併の事例で周辺部になった地域がさびれてしまう例が多かったことや、切実な要求がなかなか行政に届かない、そんな状況を打開し「住民参加の新しい自治を実現する」ことを目的で発足したものであります。

合併による調整項目や新市建設計画にしても100%満足する結果は得られませんでした。安曇支所内に山岳観光課が設置されたことや二十八年開業を目指して、島々

●安曇地区	●
755世帯	
男女	842人
	825人
合計	1,667人
H27.3.1現在	

診療所の移転が決定したことなど、地域特性が認められたものもあり、一定の成果は得られたものと思います。

しかしながら松本市になったからと言って、地域課題が全て解決した訳ではありません。

むしろ「少子高齢化」は我々の住んでいる山間部は急速に進んでおりますし、失われた二十年と言われる「デフレ不況」による観光客の減少は多くの事業経営に深刻な影響を及ぼしております。

このたび支所内に新しく「地域づくりセンター」が設立されて一年が経過しました。地域でできることは地域でという自治の確立とそれを力強く後押しする行政の援護があつてこそ特色のある「地域づくり」ができるものだと思います。

このような地道な活動を通して、今からさらに十年後、二十年后「合併して良かった」と思える地域になってくれるよう期待しながら、退任の挨拶とします。

安曇地区公民館長の退任にあたって

齊藤 久

平成23年4月より4年間安曇地区公民館長を務めてまいりました。在任中は地区の住民の皆様にお世話になりながら任務を全うすることができました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

就任当時は東日本大震災等の自然災害が勃発した直後で、日本中で「絆」の大切さが再認識されていきました。安曇地区の公民館活動に「絆」を意識しながら活動しようと推進し、公民館の活動を通じて微力ながら貢献できたのではないかと考えています。在任中の印象に残った事業を上げさせていただきます。

「地区再発見情報発信事業」に取り組んだこと。慣れないビデオを制作し、テーマの一つである中学2年生の奥穂高登山に同行してビデオ撮り（実際は登山ガイドが実施）と取材をした思い出です。自分でも何週間か前から昼休み中に支所の階段を3階まで何回も昇り降りして足腰を鍛えて臨みましたが、1日目に2回痙攣を起こしてしまいました。しかし、奥穂の頂上に皆と立った時の感動は今でもよみがえってきます。ただ、完

成したビデオがあまり利用されてない現状が残念です。「鎌倉街道」を踏破する講座で2年かけて檜峠・祠峠・沢渡から中の湯の3コースを実施したこと。乗鞍在住登山ガイドの入念な事前準備で事故なく完遂できました。特に雲間の滝の上流に入った時は感慨深いものがありました。次年度は中の湯から安房峠峠

越えが企画されるはずですので楽しみにしてください。地区文化祭は、3年前の「フアンター・ポーンズ」は好評でしたが、年々参加者が減少して存続そのものが議論される段階まで来ています。今後は、島々の上條敦重さんに後任を託しましたので、今まで以上に協力をお願いいたします。

◆公民館講座◆

アイズアート

1/16 「ひつじ」12名参加。ふれあいパーク乗鞍にて

1/25 「おひな様」15名参加。ふれあいパーク乗鞍にて

第9回冬の乗鞍を歩こう!!

3月1日、手軽に楽しめるスノーシューをはいて誰も歩いていない雪原を歩いたり、オコジョの足跡を見つけたりました。6名参加。

お詫びと訂正

○第559号の新成人の名簿に筒木美緒さん（大野川中学校）のお名前が漏れておりました。
○12月18日に行われた健康教室でストレッチに使用した山雅マフラーは500円ではなく1,500円の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

安曇公民館 共催 福祉ひろば J1開幕! 松本山雅アウェイ観戦バスツアー

地元のプロサッカーチーム、松本山雅FC初のJ1開幕試合を観戦しました! 29名参加。



▶豊田スタジアム アウェイ山雅ゴール裏!!

平成26年度学校サポート事業

安曇地区では、地域から学校を積極的に支援する地域中心型の学校サポート事業を推進し4年目を迎えます。家庭、学校、地域が連携し、子どもの育成に取り組んだ活動を展開しています。今年度行った事業を紹介いたします。

6/6 安曇校校庭への芝植え作業



地域の皆さんに応援していただきながら校庭への芝の移植作業をし緑化に取り組んでいます。

7/22~24 奥穂高岳登山ガイド支援



安曇・大野川校の伝統行事である奥穂高登山に地元の登山ガイド次田経雄さんと中野隆夫さんのご支援をいただき、難易度の高い登山ルートにチャレンジしています。

7月・11月発行 大野川校広報活動



生徒は、多くの方に乗鞍高原を知ってもらい、自然豊かなこの地を訪れてほしいという強い願いをもっています。絵はがきやカレンダーをもらった多くの方からお礼の手紙やメールが届いたこともそうですが、実際に三重県のご夫妻が観光に訪れてくださり、生徒たちは大きな喜びと満足感、そしてこれからへの意欲をもつことができました。平成27年1月には自主制作したパンフレットを、東京都銀座の長野県アンテナショップに置いてもらっています。

2/10 上高地ネイチャースキー (大野川校)



焼岳小屋の青木さんがガイドです。

10/31 親子教室 (安曇校)

近隣在住の方や、体育センター主に講師をお願いし、やしよう作り、アレンジフラワー、マイ箸作り、ニュースポーツ教室を行いました。



6/25 大野川地区・大野川校 合同運動会

学校や保護者だけでなく、地域住民全員で生徒を育むように考え、運動会も町会と合同で開催しています。準備から多くの皆さんが来校し、手際の良さに生徒が感心しています。このような行事以外でも講師として招き、教育力の活用を図っています。大野川に生まれ、大野川に育ち、いずれはこの地に戻ってきてほしいと願い、郷土愛を培う支援を大人たちがしています。



準備から多くの皆さんが来校し、手際の良さに生徒が感心しています。このような行事以外でも講師として招き、教育力の活用を図っています。大野川に生まれ、大野川に育ち、いずれはこの地に戻ってきてほしいと願い、郷土愛を培う支援を大人たちがしています。

シリーズ ●●●●● 地区じまん ④ 島々の巻

歴史文化基本構想各町会調査委員会 (協力・上條勝彦調査員)



明治時代の雑炊橋

皆さん知っていましたか？ 島々は昔結構にぎやかだったことを。

五十年ほど前には農協、銀行、病院、製材所、旅館、薬局のほか菓子屋、鍛冶屋等十数軒もの店が有りました。更に昭和二十年十月の大洪水前は、流失した諏訪電の発電所や営林署、旅館、料亭、食堂、床屋、銭湯、運送屋等もあり、結構にぎやかだったようです。

その名残りは現在でも屋号という形で残されています。皆さん知っていましたか？ 雑炊橋が昔話の名所というだけでなく、とっても重要な橋だったことを。

一八六九年(明治二年)に新淵橋が架設されるまでは、梓川に架かる唯一の橋だったのです。

平安時代の架橋以降、雑炊橋は両岸が天然の高い岩盤で、橋脚が無い刎橋(はね橋)であつたため、洪水等が有つても流されることが無く、通年通行可能な数少ない橋でした。冬場なら水が少なかったため、大野田より下流の川幅が広い所でも土台を組み仮橋を架けることが出来ました。しかし夏場ではひとたび大雨が降ると橋が流されてしまう為、春になると解体し、冬に架け直していたようです。

このため雑炊橋は、早くから松本藩直轄の橋として管理され、松本平の南北をつなぐ交通に大きな役割を果たしました。そのため十二年毎に橋の架け替えをしたそうです。



明治時代のじゃばし